

リレーリー 橋友録 私の橋歴書

<1044>



私は、これまでの二十余年の社会人生の中、施工会社やコンサルタント、研究機関や大学など、産官学の様々な場所で鋼構造を学ばせて頂きました。このお話を頂いた頃、ちょうど大学院後期博士課程の大詰めの頃で、ようやく自分の生きる道を確信が持てた折に、このバトンを頂きました。貴重な機会ですので、まだまだ若輩者ですが、話を頂いた頃、ちようど大詰めの頃で、ようやく自分が鋼構造にまつぶて頂きました。

卒業後、鋼構造を専門とする巴コーポレーションに入社しました。橋梁設計部に配属され、設計照査を3年ほど経験した後、鋼桁橋の詳細設計を担当するようになります。その後、複合フレーメン橋の詳細設計では、上司の指導のもと、標準構造ではないRC橋脚と鋼桁の剛結部の設計を経験し、形を決めかけです。

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

関東文社高度化推進部 有村 健太郎

間でしたが、鋼橋の予備設計や詳細設計のほか、研究として出向することになりました。偶然にも腐食の著しい既存の鋼トラス橋点検も経験させて頂きました。

その後、縁あってオリエンタルコンサルタンツに転職しました。鋼桁橋の設計を1年半ほど経験し、形を決めました。

2年数か月の出向を終え帰任すると、大阪市立大学山口隆司教授との鋼構造に関する共同研究が立ち上がり、志願して担当することになります。

そこで、2年ほどで、産官学の様々な場所で鋼構造を学ばせて頂きました。数年が経過した後、京都立大学村越潤教授の指導のもと、解析的実験的な検討により、橋桁橋の橋梁システム冗長

性を考慮した合理的な耐荷性能評価手法に関する研究で、鋼桁橋、腐食冗長性というこれまで経験してきたものから成っています。3年半もかけて研究の奥深さを知りました。また、平成24年道路橋示方書の改定にて、橋の状態を検討するものも関わらせて頂き、鋼箱梁断面圧縮部材の座屈規範の改定では、座屈現象も関わります。

その業務が終わることで、まだまだ知識が足りないことを痛感します。

現在、私は高度化推進部という部署に所属し、鋼構造チームのリーダーを任されています。これ

まで、産官学の様々な場所で鋼構造を学ばせて頂きました。そのため、もう迷わず邁進したいと思いま

す。

次回は、出向時に大変な道に確信を持てるようになります。

お世話になった土木研究所の澤田守さんにバトンを渡します。

K-PRO 工法 Protecting Rubber bearing from Ozone K-Coat-R : Special Elastic Coating

ゴム支承の耐候性を大幅にアップできる オゾン劣化防止コーティング工法

本工法は、川金コアテックで開発した特殊弾性コーティング材(K-Coat-R)を用いてゴムの耐オゾン性を大幅に向上させる画期的な工法です。

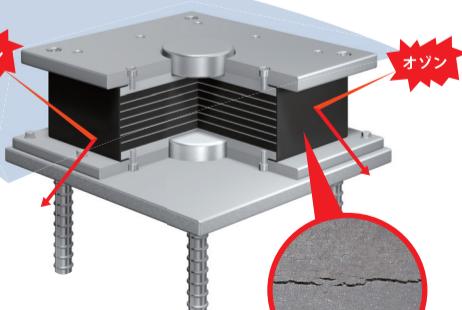
本工法は、新設および既設ゴム支承のどちらにも適用可能です。また、ゴム材料の種類を選べません。

NETIS登録番号
KT-140105-A

十分な耐オゾン性

被覆ゴムに、耐候性にすぐれたポリマーを主成分としたコーティング材を塗布することで、道路橋支承便覧規格値の10倍以上の耐オゾン性を確保できます。

オゾンなどのある過酷な条件下では...



オゾンクラックが発生したゴム支承

株式会社 川金コアテック

株式会社 ノナガセ

大東金属株式会社

本社 Tel.048(259)1113
大阪支店 Tel.06(6374)3350
本社 Tel.03(3552)1311
本社 Tel.06(6372)6319
本社 Tel.072(877)1541

リモートで実施



日本大学 阿部忠
名譽教授
(日本橋梁
メンテナンス協会
長)



今回施工した荷重分布型伸縮装置(荷重支持型)の構造。5年前に突き合わせ型も施工しており、2タイプの施工実績となる



1月に熊本で荷重分布型伸縮装置を設置。ライブ中継した

阿部名譽教授 荷重分布型伸縮装置の特徴からお願いします。荷重分布型伸縮装置は、従来の荷重支持型や突き合わせ型を既設RC床版に等分布して作用させたものです。荷重として作用させるた

めに、鋼板厚9ミリ、幅20ミリ程度の荷重分布鋼板を設けた伸縮装置で

重分布鋼板の底面に輪荷重を適切な動画配信がで

きました。技術開発の指揮をとる阿部忠日本

大名譽教授も、リモートで現地と繋いで施工の指導にあた

りました。阿部名譽教授に聞く

日本橋梁メンテナンス協会は、荷重分布

21日の3日間実施した。緊急事態宣言下に

対応して、いつもは会員企業が現地に集ま

つて現場見学・講習をしていたものを、オ

ンライン中継することによって実施。各地から会

員らが参加した。1日目はYouTube

の要領オーバーで途中で放送は打ち切るな

どじたが、2日目は

適切な動画配信がで

きました。技術開発の指

揮をとる阿部忠日本

大名譽教授も、リ

モートで現地と繋いで

るで施工の指導にあた

りました。阿部名譽教授に聞く

日本橋梁だけの落札結果「橋梁table-data」(設計・保全工事・新設下部工・新設上部工)

構造をさらにに強固に

耐荷力試験しながら開発